

# 伸縮装置取替工 作業手順

|              | 内 容  | 留 意 事 項   | 危険性・有害性の洗い出し   | 重篤度 | 可能性の<br>割合 | リスク評<br>価 | 優先度 | リスク低減措置  |
|--------------|--|---|--|-----|------------|-----------|-----|--|
| 準備工          | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業打ち合わせ(KY活動)</li> <li>作業内容、人員の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全品質作業指示書による</li> <li>指示書の内容確認</li> <li>日常点検の実施</li> </ul>   |  |     |            |           |     |  |
| カッター工        | <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリートカッターで施工予定ラインに沿って舗装を切断する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>センターライン付近の作業は、一般車に注意する。</li> <li>「はみ出し作業あり」の看板設置</li> <li>ブレード付近には、手、足を近づけない。</li> <li>機械使用後は、水抜きを行い、歯止めをかう。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>一般車両と接触し作業員がケガをする。</li> <li>ブレードにてケガをする。</li> </ul>         | 5   | 2          | 7         | IV  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保安員を付け作業する。</li> <li>ブレードカバー取り付け状況の確認</li> </ul>  |
| 飛散防止ネット設置    | <ul style="list-style-type: none"> <li>トラック(クレーン車)から飛散ネットをおろす。</li> <li>カッター終了後、3~4人でネットを組立て、設置する。</li> <li>ウェイトは、鋳鉄製枕型分銅20kgを計4個使用し、通行車線反対側の底部に緊結する。</li> <li>組立て完了後ハツリ箇所を取り込む位置までせり出し設置する。(ガードレール等が無い区間については、工事用車両やそれに変わる堅固な物に取り付ける。)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>その際、荷台からネット、作業員等転倒転落しない様注意する。</li> <li>組立ては、通行車両から離れた箇所にて行う。</li> <li>ウェイト、養生ロープで設置、固定されるまで2人以上でネットれないように押さえておく。が倒</li> <li>ガードレール等強固な物がある場合は、ウェイトの代替えとし、養生ロープによりほどけない様に結びつける。</li> <li>ロープはネット上部に、2点引き</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>組立て時、車両の風等に巻き込まれ接触する。</li> <li>設置中、一般車両が突っ込み接触する</li> </ul> | 4   | 2          | 6         | III | <ul style="list-style-type: none"> <li>保安員を付け作業する。</li> <li>極力安全な場所にて組立てる</li> <li>作業位置に合わせセラパコンをせり出す</li> <li>保安員に旗を振らせ、一般車に注意を促す。</li> </ul> |
| はつり工         | <ul style="list-style-type: none"> <li>飛散防止ネットを設置した後、カッターライン内の舗装をブレーカー、ピック等を使用して、はつり取る。</li> <li>コンプレッサーを使用し清掃する。</li> <li>深さ検測を行う。</li> <li>廃材はトラックに積み込み、所定の処分場に運搬し、処理を依頼する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業に合った保護具を使用する。</li> <li>橋梁下に落下物が無い様にシート、ウレタンフォーム等で養生を行う。</li> <li>マニフェストの提出</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ハツリ片が飛び通行車両にキズを付ける</li> <li>As,Co片が目に入りケガをする。</li> </ul>    | 4   | 3          | 7         | IV  | <ul style="list-style-type: none"> <li>飛散防止ネットの設置</li> <li>保護メガネ・マスクの着用</li> </ul>   |
| 作業中のネット移動    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットの移動は設置撤去に準ずる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>単独作業はしない。</li> </ul>   |  |     |            |           |     |  |
| 飛散防止ネット撤去    | <ul style="list-style-type: none"> <li>飛散防止ネット撤去の際は、通行車両に影響の無い箇所までネットを2~4人で作業帯に引き込み、その場で倒し養生ロープを外す。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>飛散防止ネット撤去の際は、作業員全員で同時に作業を行うこと。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>解体時、車両の風等に巻き込まれ一般車に接触する。</li> </ul>                         | 5   | 2          | 7         | IV  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保安員を付け作業する。</li> <li>極力安全な場所にて解体する</li> </ul>   |
| 伸縮装置設置工      | <ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ組み立ててある伸縮装置を、ユニックを使用し舗装撤去箇所へ設置する。</li> <li>エアードリルで削孔しアンカーを打設する。</li> <li>補強鉄筋の溶接を行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者による、機械作業を行う。</li> <li>吊り荷の下へは絶対立ち入らない。</li> <li>溶接時には、消化器等を用意し火災に十分備える。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>吊り上げた荷物が落下しケガをする。</li> <li>溶接の火花で火災が発生する。</li> </ul>        | 4   | 1          | 5         | III | <ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者が行う</li> <li>確実な玉掛け作業の実施</li> <li>消火器の設置</li> </ul>   |
| 超速硬コンクリートの打設 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ジェットモービル車にて超速硬コンクリートを打設する。この時、左右に移動しながら打設しバイブレーターをしっかりと掛ける。</li> <li>また打設後は、素早く金鍍仕上げを行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>車輛の移動時には、必ず誘導を行う。</li> <li>センターライン付近の作業は、一般車に注意する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>一般車と接触し作業員がケガをする。</li> </ul>                                | 5   | 2          | 7         | IV  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保安員を付け作業する。</li> </ul>  |
| 養生           | <ul style="list-style-type: none"> <li>皮膜養生剤及びシートを使用し規定の時間、養生を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>シート養生の場合は、風等での飛散防止処置を行う。</li> <li>開放可能強度 24N/mm<sup>2</sup>以上</li> </ul>   |  |     |            |           |     |  |
| 後片付け         | <ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。</li> <li>終礼の実施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>はつりかす、材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。</li> </ul>  |  |     |            |           |     |  |

注意事項

- 作業に合った保護具を使用する。
- センターライン付近の作業は、十分注意を行う。
- 各作業は、有資格者による作業を行う。
- はつり、清掃時の小石等の一般車への飛散には、十分注意を行う。
- 火災防止処置を行う。
- 規制内での作業開始前「避難場所を定めて、避難訓練を実施する」